

奄美大島・喜界島農業の動き

■令和4年7月

1 宇検村「ケンムンの館」がK-GAPのPR協力店に登録

宇検村にある「ケンムンの館」が、7月、大島群島初（チェーン店を除く）、かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）PR協力店に登録されました。「ケンムンの館」では、K-GAP認証を受けた鶏卵や野菜（トマト）などを販売しています。多くの消費者へ広くK-GAPを知ってもらい、農家の意欲向上につながるよう認証を受けた農産物の販売促進を図ることが目的です。今後もK-GAP取得推進に向けた支援を行います。

2 新規就農者が基礎技術を学ぶ

奄美大島及び喜界島の新規就農者を対象とした農業基礎講座を6月30日、喜界町役場での土壌肥料の講義を皮切りに、名瀬及び瀬戸内、喜界の3会場で開始しました。今年度の基礎講座の分野は、新規就農者の営農品目の動向を踏まえ、新たにさとうきび、畜産を加え、果樹や野菜、病害虫、土壌肥料、農業経営等として行っています。今後も、農政普及課においては、新規就農者の定着支援に向けて、経営者としての自覚を促しながら品目別研修等を実施していく計画です。

3 農福連携の取組が発展していく環境づくりについて検討

奄美大島・喜界島の県・市町村の農業・福祉部門の担当者が構成される大島地区農福連携推進チームは、6月29日にチーム会を開催し、令和4年度の課題として、「相談内容ごとの相談先一覧表の作成」と「施設外就労における事前調整チェックリストの作成」に、メンバーが協力して取り組むこととしました。チームでは就労支援事業所や農業者の取組が発展していく環境づくりに向けて、各年度ごとに課題を設定して確実に取り組むこととしています。